

兵庫県のみ漁場環境情報 (西播海域 17号)

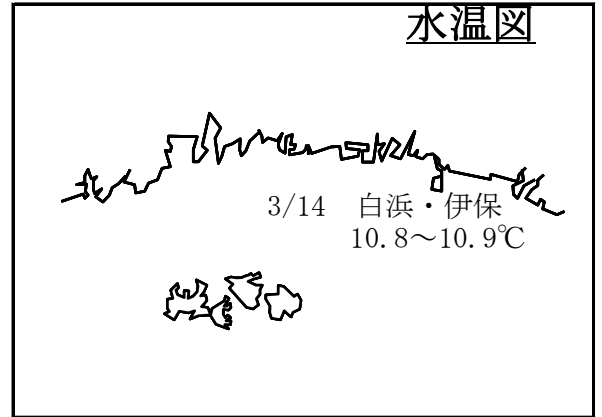
2023年 3月16日発行
 兵庫のみ研究所

西播地先では、小型珪藻のニッチア、キートセロス、大型珪藻のユーカンピアが確認されます。沖合漁場においても、同様の珪藻は確認されますが、発生量は少ない状況です。窒素は、西播地先の陸水等の影響が見られる網干漁場で10 $\mu\text{g-at/L}$ 以上、その他の海域で概ね1 $\mu\text{g-at/L}$ 以下の値となっています。

(珪藻、栄養塩)

西播地先において、小型珪藻のニッチア、キートセロス、大型珪藻のユーカンピアが確認されており、発生量は前回(3/7)調査と同様である。沖合漁場では、西播地先と同様の珪藻は確認されるが、発生量は少ない。各海域のユーカンピア発生量(海水1mlあたり)は、西播地先で20~180細胞(前回値:10~150細胞)、沖合漁場で0~30細胞(前回値:0~3細胞)であった。

網干漁場では、陸水等の影響によりアンモニア態窒素の値が高くなっていた。



		前回値	今回値	平年値	昨年値
西播地先	窒素	2.3	4.4	2.1	
	リン	0.29	0.27	0.20	
家島・坊勢	窒素	0.9	0.4	0.9	
	リン	0.30	0.23	0.16	

(3/7)

栄養塩 (窒素) 図

2023年 3月16日調査

